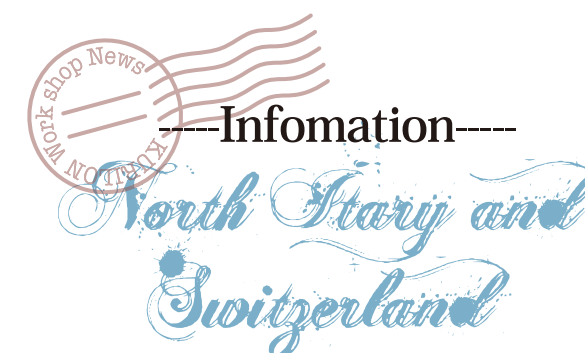


Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.25 2017年8月

No.
25



「北イタリア・スイス紀行」画集完成記念
蔡國華 作品展

2017年8月28日(月)~9月2日(土)



北イタリアとスイスを旅し、描いた作品をまとめた
美しい画集が完成いたしました。
銀座画空間にて8月28日(月)から9月2日(土)に
作品展が開催されます。
近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

(デザイン: 画空間 豊島 愛)

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
<http://www.kurilon.co.jp/>

心が豊かであるために・・・
KURILON Work Shop
<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

画空間 Art Space
<http://www.a-kukan.com/>

第13回 新製品説明会

2017年5月10日の大阪会場を皮切りに、名古屋、東京、札幌、福岡の全国5都市で新製品説明会を開催しました。13回目となる今回は「シグマチューブ」や「しん重もん」が発表された2013年以来の、4年ぶりの開催となります。

新製品説明会は、全てが社員の工夫を凝らした手作りです。今回も実行委員会を中心に、各部署よりメンバーを選出し約半年間かけて企画を練り、進めてきました。開発営業部長の栗原からは規格袋の再編強化や開発製品、「事務営業」の取組みについての紹介があり、社員による寸劇も交えながら説明されました。

今回の規格袋の再編強化によって、よりシンプルに力強く拡販していただけるラインナップとなります。また当社の代表



当日は舞台だけでなく、部署毎にブースを出展しました。製造課は品質へのこだわりについてフィルムの曲がり確認の実演などを交えて発表し、事務職も今回初めてブースを設け、事務営業についてアピールしました。事務営業とは、事務所にいる利点を活かし、見積りや提案などを迅速に行うことで、お客様の日々の業務を強力にサポートできる当社独自の取組みです。日々の電話応対やおもてなし技能資格など社内資格制度を通じ能力

各部署のブース出展

キャラクターである「五重もん君」は「しん重もん」への統合によって、卒業となり、20年間の感謝を皆様にお伝えしました。今回発表された新製品や再編強化された規格袋は、ナイロンポリ業界に新たな風を吹き込むと共に、当社のこれからの事業を支える柱ともなっています。



▲事務営業についての寸劇



▲製造課発表



▼懇親会演奏

事務所の留守を任されていた社員も含め、全社員が自ら率先して作り上げる新製品説明会は、製品だけではなく、当社独自の企業個性・企業文化を知っていただく機会となっています。これから日々の仕事を通して企業文化をより洗練し、社員、会社共に成長していききたいと思います。

実行委員長 畠中 渉
人材部 福田真美子



今春4月24日から29日の六日間にわたり、「彩墨色趣 蔡國華 作品展」が画空間にて開催され、油彩を中心とした、大小様々な作品が10点ほど並びました。

全体的に落ち着いた雰囲気、漂わせる作品が多い中、植物を題材にした静物画では、今までにない世界観を持ったものが目を引きました。枝いっばいに咲いた木蓮をモノクロームの世界で表現した作品や、つややかに花開く椿のあでやかな深紅の世界、また対照的に枯れた蓮の花托が一本ひっそりと佇む姿を描いた作品はひかえめな色調で見る者の心を清めるかのよう…。それぞれに生きる様をそれぞれの色彩で語りかけるこれらの作品はまさに「彩墨色趣」というタイトルそのものです。

彩墨色趣 蔡國華 作品展



さらに、おなじみ「Players」シリーズから新作が展示されました。

Jazz奏者の日常的な場面を切り取った人気シリーズです。一心不乱に演奏に酔いしれる奏者が奥行きのある色合いで描かれています。ジャズの音色が聞こえてくるような作品は、音には色があり、色には音があることを感じさせてくれます。

今回は、異なったテーマの作品が調和した魅力ある作品展となりました。来場者も、花々の優雅さの中に音楽の旋律が漂う画空間ならではの「春」を満喫してくれたことでしょう。次回の展覧会ではどんな感動を与えてくれるか楽しみです。

画空間 小路 純子
近 ゆうみ

新刊本 7月7日発売!/
誰かに話したくなる
漢字のはなし

著：現代子ども教育研究所 下村 昇

画空間で、この度「誰かに話したくなる漢字のはなし」を発行いたしました。昨年末に発行された『下村式 ひらがなの教え方』歌って唱えて字が書ける『と』下村式となっておぼえるひらがなの おけいこちゃん』の著者である下村昇先生が執筆されました。

漢字にまつわる「へえ!はじめて知った、そんな由来があったのか」と思わず「誰かに話したくなる」面白いお話が盛りだくさんの内容となっており、改めて漢字は奥深い文字文化なのだと気付かれます。



定価：1,000円＋税
発行：クリロンワークショップ画空間
発売：銀の鈴社

通勤、通学の車内でお読みいただく書籍としていかがでしょうか?時間があつという間に過ぎる楽しい1冊です。

また本書の作成にあたって、装丁・レイアウトは画空間が、販売は(株)銀の鈴社が担っております。お近くの書店かアマゾンにて注文できます。

12月末には『もつと 誰かに話したくなる漢字のはなし』も刊行予定です。

画空間 豊島 愛

既刊書籍販売のお知らせ

画空間代表 栗原明理のエッセイと絵本の第2版が発行され、アマゾンにて取り扱っております。



めぐる季節〜ときの流れの中で〜
定価：1,500円＋税
発行：クリロンワークショップ画空間
発売：銀の鈴社

『めぐる季節〜ときの流れの中で〜』は著者の幼少期から青春時代、大切な家族や友人との思い出、そして別れの記憶などを12カ月に分けて自身の油彩作品とともに綴ったエッセイ集。全篇を通して、懐かしさと淡い哀愁が感じられる作品です。

『つづきをおねむりもういちど』こちらは作画・文ともに栗原明理が務めた子供向けの絵本です。優しいタッチでユーモラスに描かれる動物や子供たち。物語はリズムミカルな言葉に乗って、ゆっくりと夢の中へと案内してくれるでしょう。お子さまが眠りにつく前に読み聞かせたい一冊です。

画空間 小川 あきこ

き、普段なかなか知り得ない情報を聞くことができる、貴重な機会となりました。

最後に社長の栗原が「プラスチックフィルム事業の展望」についての考えを述べ、「共押出技術はまだまだ発展していく可能性があり、将来の予測に応じて決断し、更なる技術革新に向け、今後も当社は技術経営、人材経営に力を入れて取り組んでいく」と締め括りました。